

# 平成22年3月期 第2四半期決算説明資料 (連結)



平成21年11月  
株式会社ウェッズ  
(ジャスダック上場:7551)

**weds** CO.,LTD.



## (株)ウェッズの特徴

- ・販売網：札幌～福岡まで全国12営業所において  
1万店を超える自動車用品販売店と取引があり、業界では最大規模の販売力を保持
- ・物流体制：愛知県岡崎市・山形県天童市に大型倉庫保有  
迅速・効率的なデリバリー体制を構築
- ・商品開発：マーケットイン方式によりお客様のニーズをいち早く  
キャッチする商品開発体制を構築  
クレンツェなど数多くのブランド展開
- ・資本：筆頭株主がトヨタ自動車子会社の中央精機(株)  
安定的な資本構成と財務体質を保持

# グループ会社事業内容

## ・(株)バーデン(100%出資子会社)

- ・自動車用品小売3店の経営 (安城1店・浜松2店)
- ・中央精機向け産業機械の販売
- ・福祉施設(グレイシャスビラ安城)の経営
- ・携帯電話販売店の経営(ソフトバンク3店)

## ・(株)スーパースター(100%出資子会社)

- ・高級品アルミホイールの製造・販売

## ・ウェッズ ノースアメリカ インク(100%出資子会社)

- ・北米での当社商品(ホイール、GT用品等)の販売

## ・(株)ロジックス(34%出資持分法適用会社)

- ・当社商品の保管・配送業務
- ・中央精機商品の検査・輸送・荷役業務

# 本資料表記に関する留意事項

前期から金融商品取引法に基づく四半期制度が導入されたことにより、標記内容が変更されていますが、本資料では、参考として前々年の中間期の数値を併記する形で表示しています。

# 業績概要

(単位:百万円)

	19/9期		20/9期		21/9期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	8,897	100	9,161	100	8,082	100	88%
売上総利益	1,861	20.9	1,885	20.6	1,778	22.0	94%
営業利益	-42	-0.5	-15	-0.2	18	0.2	-
経常利益	44	0.5	55	0.6	36	0.4	66%
税金等調整前中間純利益	44	0.5	55	0.6	55	0.7	100%
四半期(中間)純利益	17	0.2	21	0.2	32	0.4	153%

## 【今第2四半期の業績変動要因】

- ・自動車業界や自動車用品のアフターマーケット需要は依然として低迷
- ・自動車卸売事業、開発事業の売上減少等により減収
- ・販売費など経費削減等により、減収による利益落ち込みをカバー
- ・特別利益計上で純利益が増加

## 財務体質・収益性

(単位:百万円)

	19/9期	20/9期	21/9期	前期比(差)
総資産	13,833	13,072	11,713	90%
純資産	6,582	6,526	6,330	97%
有利子負債	4,762	4,122	3,192	77%
自己資本比率	47.6%	49.9%	54.0%	4.1%
有利子負債比率	34.4%	31.5%	27.3%	-4.2%
1株当り純利益	3.8円	4.8円	7.6円	158%
1株当り純資産	1,480円	1,468円	1,498円	102%
売上高経常利益率	0.5%	0.6%	0.4%	-0.2%
純資産利益率	0.3%	0.3%	0.5%	0.2%

### 【主要増減要因】

有利子負債減少: 商品在庫の減少、売掛金の減少

# キャッシュフロー概要

(単位:百万円)

		19/9期	20/9期	21/9期
キャッシュ フロー	営業活動	▲ 625	▲ 412	▲ 14
	投資活動	▲ 604	▲ 42	▲ 125
	財務活動	793	805	126
	計	▲ 436	351	▲ 13
B / S 増減 (前3月末比)	現金預金	-436	+351	-13
	売上債権	-688	-730	-327
	商品在庫	+980	+1,026	+385
	固定資産	+381	-101	+73
	仕入債務	+319	+229	+162
	借入金	+825	+845	+235

# セグメント別売上高

(単位:百万円)

	19/9期		20/9期		21/9期		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
自動車関連卸売事業	7,122	80%	7,252	79%	6,377	79%	88%
自動車関連小売事業	846	10%	740	8%	798	10%	108%
開発事業	389	4%	669	7%	339	4%	51%
福祉事業	225	3%	234	3%	262	3%	112%
携帯電話代理店事業	427	5%	342	4%	354	4%	104%
消去	-113	-1%	-77	-1%	-51	-1%	-
連結計	8,897	100%	9,161	100%	8,082	100%	88%

## 【主要な前年同期差異理由】

- (1)自動車関連卸売事業: スチール販売本数減少等により減収
- (2)自動車関連小売事業: ETC特需以降も好調に推移で増収
- (3)開発事業: 中央精機等向け機械設備納入減収
- (4)福祉事業: 有料老人ホームの順調な推移により増収

# セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	19年9月期	20年9月期	21年9月期	前年同期差
自動車関連卸売事業	-60	5	-8	-13
自動車関連小売事業	-29	-57	-6	51
開発事業	13	7	-18	-25
福祉事業	21	28	32	4
携帯電話代理店事業	13	-0	17	17
消去	-1	0	1	-
連結計	-42	-15	18	33

## 【主要な前年同期差異理由】

- (1) 自動車関連卸売事業: 販売額減少はあるものの、販管費削減と為替差益でカバー
- (2) 自動車関連小売事業: 売上増加等で改善
- (3) 開発事業: 売上減少により悪化
- (4) 福祉事業: 有料老人ホームの順調な推移により増益

# 年間業績予想(22年3月期)

(単位:百万円)

	20/3期実績	21/3期実績	22/3期予想	年初計画比	前年比
売上高	23,457	21,447	20,000	93%	93%
営業利益	475	278	450	100%	162%
経常利益	526	305	450	100%	148%
当期純利益	300	111	210	100%	189%

・21/3期の年間業績予想は、第2四半期決算発表をした本年10月に売上高のみ下方修正していますが、各利益は期初の5月に発表した年間業績予想を据え置いています。

・環境は依然として厳しさが続くと考えていますが、為替差益の増加要因と販売費削減を織り込んでいます。

# 主要経営課題

当社グループは、自動車用品アフターマーケットの成熟化や競争激化等環境変化に対応すべく次の経営課題に鋭意取り組んで参ります。

## ●自動車関連卸売事業

- (1) 高中級アルミホイール商品開発力の強化
- (2) 営業力強化及びシステム構築
- (3) 商品管理の強化
- (4) 高級品3ピース製造販売の拡充

## ●自動車用品小売事業の収益性改善

## ●福祉事業の拡充

## ●輸出売上高の確保

当社の平成22年3月期第2四半期決算の詳細な内容については、  
当社ホームページ「IR情報」に掲載している「第2四半期決算  
短信」などあわせてご覧下さい。

URL：<http://www.weds.co.jp>